

2015年度に帯広市が実施した 男女共同参画事業 のご紹介

※おびひろ女性活躍推進フォーラムは
2～3Pに掲載

●デートDV予防講座

講師：NPOピーチハウス
志堅原郁子さん他
6月16日 帯広農業高校
6月17日 帯広北高等学校
8月20日 帯広柏葉高等学校(定時制)



□男女共同参画週間

「パネル展」
6月23日～29日
帯広市役所市民ホール

□女性に対する暴力をなくす運動

「パネル展」
11月12日～25日
帯広市役所市民ホール

帯広市男女共同参画講座

■9月12日「映画の中の女たち」

講師：瀬名波栄潤さん
北海道大学大学院教授

■11月13日「女性に対する暴力」

～私たちを取りまくDV・性暴力～
講師：帯広市女性相談員

■1月21日「JICAにおける男女共同参画社会の実現に向けた取り組み」

講師：睦好絵美子さん
独立行政法人 国際協力機構北海道国際センター帯広代表

■3月24日「夫婦の法律講座」

～知っておこう！結婚と離婚にまつわる法律知識～
講師：阪口 剛さん
阪口法律事務所 弁護士

帯広市社会参画支援講座

■10月23日「マタニティハラスメントとは」

～妊娠・出産しても女性が健康で安心して働くために～
講師：菅原幸子さん
一般財団法人女性労働協会女性就業支援専門員

■2月17日「十勝の食材『あ・い・う・え・お』」

～身の回りから始める農家ブランディング～
講師：森田里絵さん
A-net ファーム専務取締役

第14回 「女と男の一行詩」

「女と男の一行詩」にご応募をいただきありがとうございました。
十勝管内在住・在勤・在学の方を対象に募集し、一般投票と
選考委員による審査の結果6作品の入賞が決定しました。



表彰式 2015.11.27 帯広市役所

最優秀賞
育メン、家事メン
夫婦の絆に
効果てきめん
早川 博明さん(一般)

私自身、妻の満足できるレベルの育メン、
家事メンには程遠く、自分の目標を作品に
しました。

優秀賞
単身の暮らしを
続けて得たりしは
働く女性の
偉大なる知恵
小野峰宏さん(一般)

単身生活9年目。単身を始め
た頃に比べると随分と身の回
わりのことをやれるようにな
ったと感心しているが、まだま
だ要領が悪く、同じ職場で働く
女性を尊敬します。

入選
「ありがとう」
感謝している一言で
夫婦も家庭も
笑顔でいっぱい
江崎美千代さん(一般)

人と人の関係で一番大切な
のは「感謝」だと思います。毎日
一緒にいる間柄だからこそ、そ
の気持ちを言葉に出すことが
円満な生活につながると思
いました。

「女と男の一行詩」とは、形式の
ない川柳のようなものです。「男
性の家庭や地域への参画」、「女
性の活躍」、「ワーク・ライフ・バ
ランス(仕事と生活の調和)」な
ど「男女共同参画」をテーマに
家庭や地域、学校や職場で感じ
る思いを募集しました。

お疲れさん
その一言が
笑顔の和(輪)
米森 真弓さん(一般)

ネクタイと
エプロン似合う
パパが好き
平泉 尚登さん(一般)

「人」の字は
支え合って
できている
その心
忘れちゃいけない
男女とも
佐藤泰望さん(中学生)

【講評】
近年の「女と男の一行詩」は若い世代からの応募作品が多く、入賞
作品も高校生や中学生による作品が多く選ばれてきました。今年度は
一般からの応募が多数あり、最終的に一般5作品、中学生1作品が入
賞作品として選ばれました。最優秀賞に選ばれた作品は、ご自身の経
験や目標を表現したのですが、とりわけ男性における男女共同参画
の推進が必要とされる今の時代に生きる私たち一人ひとりに置き換
えることもできるでしょう。仕事と家事の両立の難しさを通して同じ職
場で働く女性への敬意を表現した優秀賞の作品とともに深い共感力を
持った作品でした。

入賞した作品に共通しているテーマは思いやりと感謝、そして支え
あいです。これらは、お互いを尊重しあい、個を認め合う男女共同参
画社会の実現にとっても大切なことだと思います。「ありがとう」「好
き」「お疲れさん」という言葉で支えあう家族への愛情を表現した優
秀賞1作品と入選2作品は、男女共同参画が身近な場所で実現できる
ことを気づかせてくれました。一般の方々の活躍の中で中学生の作品
が入賞したことは、さまざまな世代の協働を予感させるものでもあり
ました。漢字の語源を超えた支えあいの気持ちが伝わってくる素晴らしい作品でした。

来年度から国の第4次男女共同参画基本計画が始まり、国会で熟議
を重ねた女性活躍推進法も施行されます。本市における男女共同参画
の新しい時代の幕開けにふさわしい入賞作品となりました。

「女と男の一行詩」選考委員長 岡庭 義行
(帯広大谷短期大学副学長/教授、帯広市男女共同参画推進市民会議会長)

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

〒080-8670
帯広市西5条南7丁目 帯広市役所 男女共同参画推進課
電話:0155-65-4134 FAX:0155-23-0171
電子メール danjyo@city.obihiro.hokkaido.jp

2016年3月発行
●発行：帯広市
●企画・編集：帯広市男女共同参画推進員
清水マチ子、池田淳一、伊藤容子
遠藤妙子、沼田秀実、浦端昭道
宮本奈津子